

5大がんの5年生存率

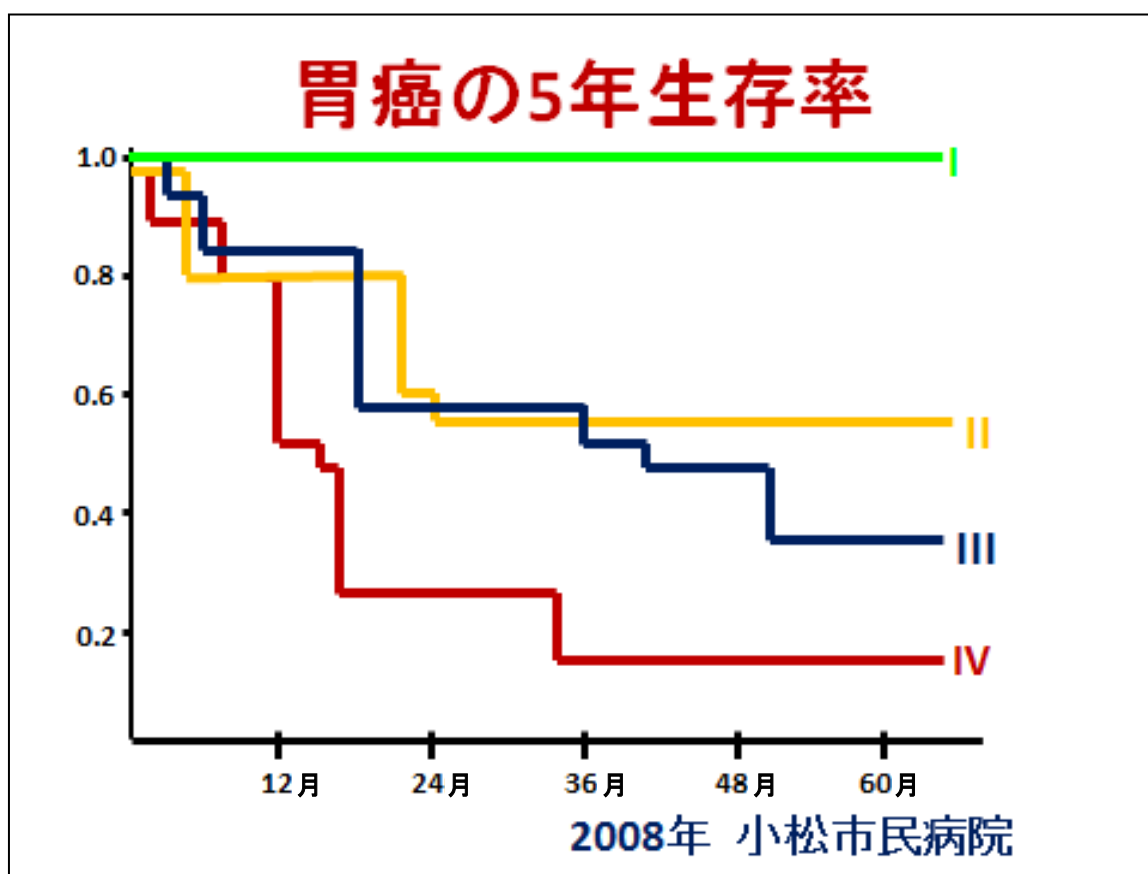
■解説

当院にて、がんの治療をされた患者の5年後の予後を調査し、生存率として表したものです。なお、5大がんとは胃がん、大腸がん、乳がん、肝がん、肺がんです。

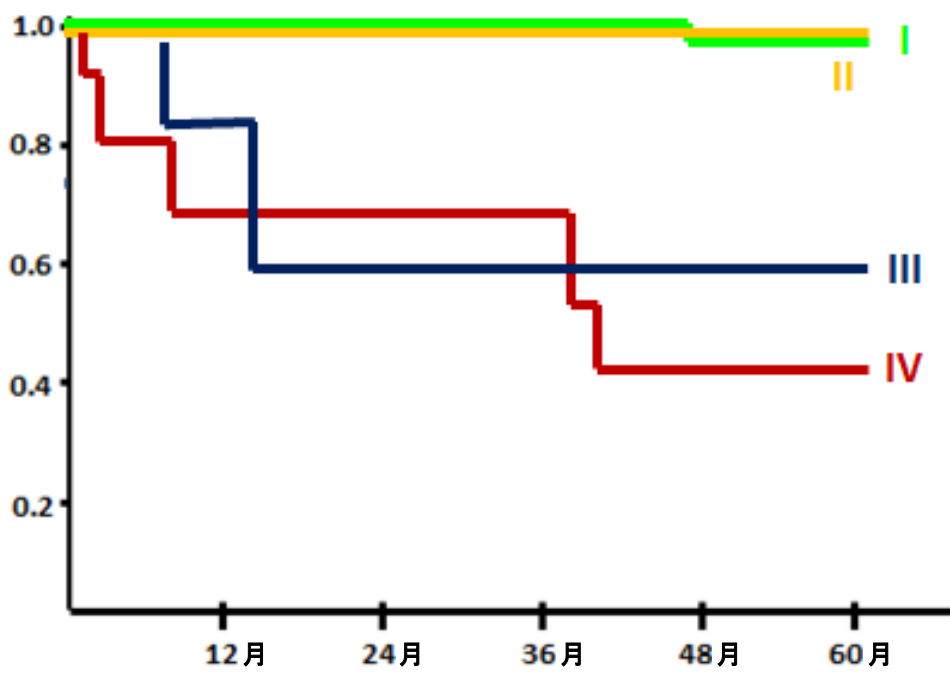
どのがんも、ステージⅠ、Ⅱでは生存率が高いことが分かります。このことから、がんは早期発見や早期治療が重要であると思われます。当院でもあらゆるがんの診断や治療の提供に努めています。

単位 %

対象 2008年のがん患者

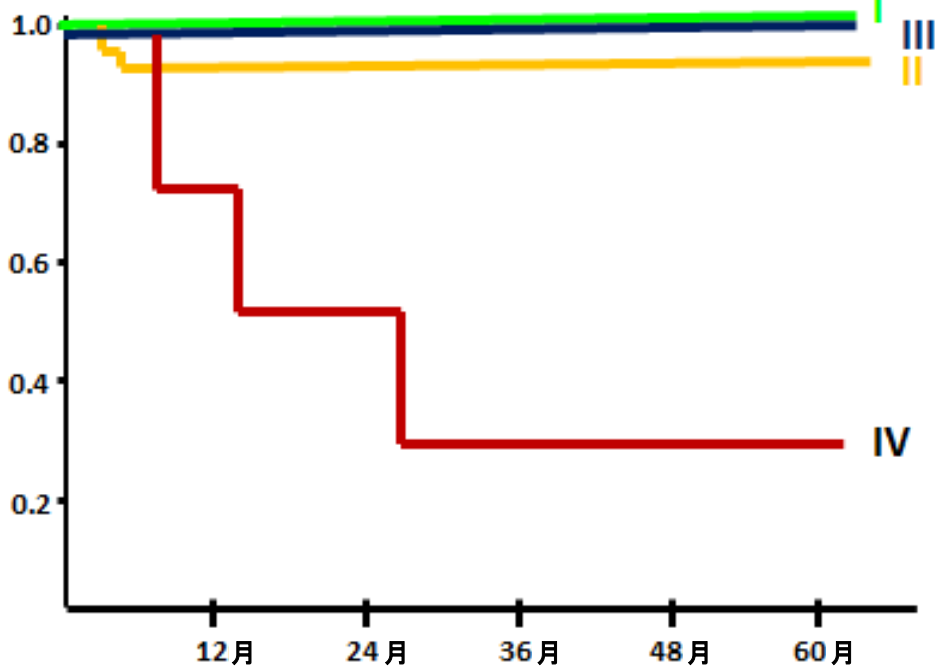


大腸癌の5年生存率



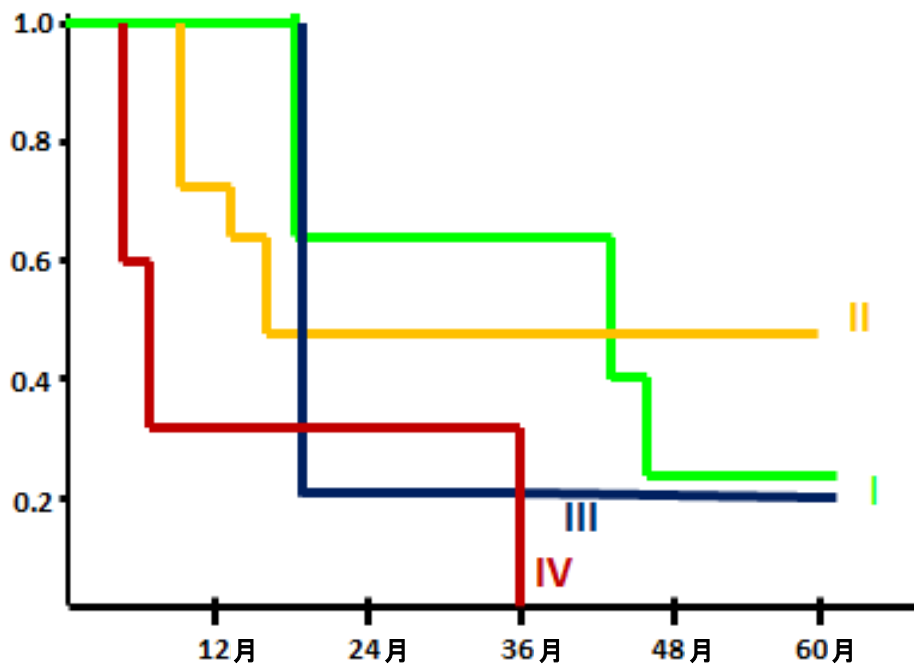
2008年 小松市民病院

乳癌の5年生存率



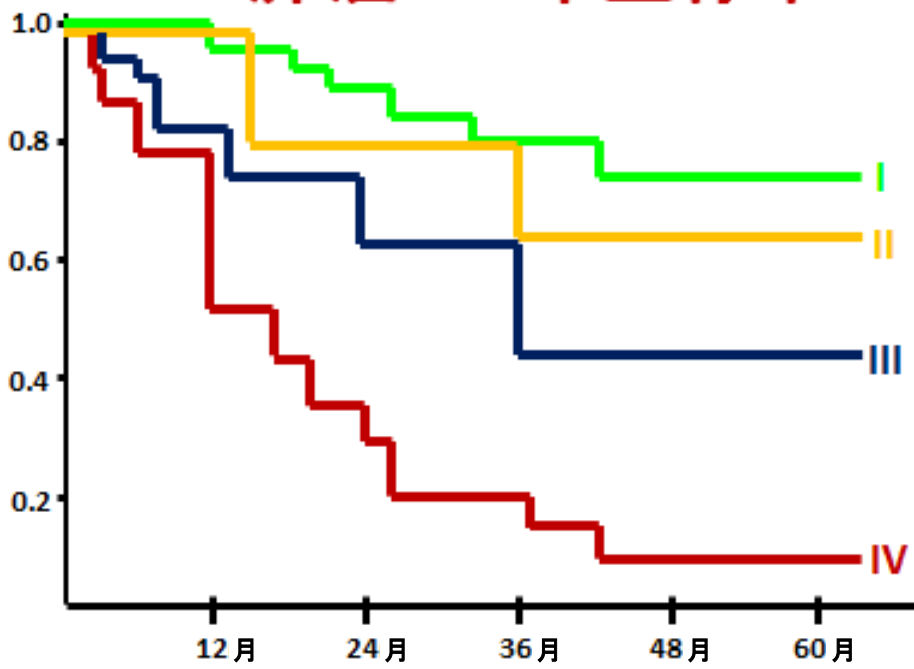
2008年 小松市民病院

肝癌の5年生存率



2008年 小松市民病院

肺癌の5年生存率



2008年 小松市民病院

グラフの見方

- ① 小松市民病院で2008年に治療した胃癌、大腸癌、乳癌、肝癌、肺癌のいわゆる日本人に多い5大癌の生存率を表した
- ② 縦軸の1.0は生存率100%を0.8は80%を意味する。横軸のmは月数を表す（12月は1年、24月は2年、36月は3年、48月は4年、60月は5年を表す）
- ③ グラフのI,II,III,IVはステージI,II,III,IVを示す
- ④ 例えば乳癌のステージIの5年生存率が100%であることを示している。
胃癌のステージIIIの2年生存率が60%であることを示している